



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 シャルレ

コード番号 9885 URL <http://www.charle.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 奥平 和良

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートサービス部長

(氏名) 高田 博祐

TEL 078-792-8565

四半期報告書提出予定日 平成26年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,512	—	424	—	471	—	432	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	22.54	—
26年3月期第2四半期	—	—

※当社は、平成26年3月期第2四半期は連結財務諸表を開示しておりましたため、平成26年3月期第2四半期の経営成績(累計)および前年同四半期増減率につきましては記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	23,614	—	19,913	—	84.3	1,039.02
26年3月期	24,073	—	19,859	—	82.5	1,036.19

(参考)自己資本 27年3月期第2四半期 19,913百万円 26年3月期 19,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,000	△8.4	600	△43.2	650	△40.3	400	0.9	20.87

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	21,034,950 株	26年3月期	21,034,950 株
27年3月期2Q	1,869,337 株	26年3月期	1,869,217 株
27年3月期2Q	19,165,689 株	26年3月期2Q	19,165,869 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その約束を達成する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細は添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う需要の反動の影響は、和らぎつつあるものの、企業収益や個人消費の改善は、やや足踏みの傾向が見られるなど、緩やかな回復基調にて推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社は「女性を元気にする日本一のグループ」をめざして、美と健康の事業領域を中心に、他社との差別化を図れる独自性のあるシャルレらしい「もの」や、喜びや感動を与える「こと」の提供を追求してまいりました。また、生涯を通じていきいきと輝いている「ひと」をサポートするため、女性たちに活躍の機会を提供し、地域を活性化することによって、豊かな社会の実現をめざしてまいりました。

レディースインナー等販売事業は、販売組織の再活性化に積極的に取り組みました。また「美と健康のシャルレ」として、健康関連分野の商品や化粧品等、機能性に優れ、独自性のある商品の開発・提供をより一層強化するとともに、次世代を担うビジネスメンバーの育成や、新たなターゲット層への商品開発等にも積極的に取り組んでまいりました。

商品面におきましては、5月に定番ファンデーションとインナーの「ドゥヴァンナシリーズ」に、定番色のカラーを追加発売し、繊維系商品のアイテムの拡充を図りました。9月には、アウトブランド「シャルレドレッセ」よりカットソーやパンツを発売し、新鮮味のある柄や上質な素材感が高評価を得て、売上が順調に推移いたしました。

化粧品類につきましては、30代から40代の新たなお客様に向けた商品として、4月に親子で使用可能な日やけ止め乳液「マイルドUVミルク」を発売いたしました。低刺激で肌に優しい設計であり、肌が敏感な方への紫外線対策として高評価を得ました。また、9月にはエタリテブランド最高峰のエイジングケアライン「エタリテ オーラマージュ」より、新たなご愛用者の獲得を図ると共に、既存のお客様のリピート購入にもつなげることを目的にローション、エッセンス、クリームの限定セットを発売いたしました。

さらに、繊維系商品や化粧品類に次ぐ新たな商材として、5月より健康食品類を発売いたしました。当社オリジナルの健康食品「n s (エヌエス)」は、女性の健康サポートをコンセプトに、自然(ナチュラル)と科学(サイエンス)が融合した健康食品の新ブランドです。その第一弾として発売いたしました「エナジン ウォーマー」は、機能性成分として十数種類ものフラボノイド類を含む黒ショウガや発酵黒タマネギ等を用いており、2014年モンド・セレクションに出品し、ダイエット・健康製品部門で金賞を受賞いたしました。また、より多くのお客様に「エナジン ウォーマー」をお試しいただく取り組みとして、9月からの期間限定でトライアルパックをセットしたキャンペーン商品を発売したところ、計画を上回る売上となりました。

営業施策面におきましては、4月に全代理店を対象とした「第31回シャルレ代理店セミナー」を開催し、中期経営方針や各種施策の共有化を図るとともに、代理店との一体感を醸成し、活動意欲の向上に結びました。7月には、「シャルレ台湾特別セミナー2014」を開催し、多くのビジネスメンバーが集い、前期のコンテスト入賞者を称えあうことで、次のコンテストに向けてのモチベーションをより一層高めることができました。9月からは、ビジネスメンバーを対象とした「チャレンジコンテスト2014」をスタートし、仕入実績に応じたボーナス支給等により、販売活動の意欲向上に結びつけてまいりました。また、組織販売を強化するための策として、新たなボーナス制度の導入や、営業支援・教育体制の整備などにも積極的に取り組んでまいりました。

9月には、大阪心斎橋に直営店「シャルレ・ザ・ストア」をオープンいたしました。直営店では、当社商品の試着や美と健康に関する情報発信やサービスの提供を行い、多くの女性に当社ブランドを認知していただき、女性の「美しく健康でありたい」という願いをサポートすることを目的としております。

以上の結果、当第2四半期会計期間の売上高は前年実績を上回ったものの、第1四半期までの消費税率引き上げに伴う駆け込み需要による反動が大きかったことから、当第2四半期累計期間における売上高は85億12百万円(前年同四半期比10.6%減)となりましたが、販管費や在庫評価損が減少したことにより、営業利益は4億24百万円(前年同四半期比34.5%増)となりました。また、経常利益は4億71百万円(前年同四半期比42.1%増)、四半期純利益は4億32百万円(前年同四半期は純損失77百万円)となりました。

なお、当社は前第2四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を作成していましたが、前連結会計年度において連結子会社「香羅奈(上海)国際貿易有限公司」の営業を終了したため、当事業年度より連結財務諸表非作成会社となりました。したがって、前年同期(非連結)との比較は参考数値であります。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、投資有価証券の減少9億89百万円等により、前事業年度末に比べ4億59百万円減少して236億14百万円となりました。

負債は、買掛金の増加3億42百万円、未払金の減少5億94百万円等により、前事業年度末に比べ5億13百万円減少して37億円となりました。

純資産は、四半期純利益4億32百万円、利益配当金2億87百万円等により、前事業年度末に比べ54百万円増加し、199億13百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の82.5%から84.3%に上昇しました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、35億24百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億20百万円の収入となりました。主な要因は、税引前四半期純利益4億64百万円、仕入債務の増加3億42百万円、未払金の減少6億11百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、4億69百万円の収入となりました。主な要因は、定期預金の減少2億円、有価証券及び投資有価証券の売却・償還による収入5億23百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、3億23百万円の支出となりました。主な要因は、配当金の支払額2億87百万円であります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年10月28日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、割引率の決定方法を、従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期累計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期累計期間の期首の退職給付引当金が30百万円増加、前払年金費用が87百万円減少し、利益剰余金が118百万円減少しております。また、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益および税引前四半期純利益はそれぞれ0百万円減少しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,096	9,162
売掛金	150	107
有価証券	2,661	2,661
商品	3,698	3,808
貯蔵品	26	35
繰延税金資産	411	411
その他	525	939
貸倒引当金	△47	△59
流動資産合計	16,520	17,066
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,254	1,272
土地	907	907
その他（純額）	415	352
有形固定資産合計	2,577	2,532
無形固定資産		
ソフトウェア	832	862
その他	18	19
無形固定資産合計	851	881
投資その他の資産		
投資有価証券	2,551	1,561
前払年金費用	673	606
繰延税金資産	379	379
その他	542	592
貸倒引当金	△23	△6
投資その他の資産合計	4,123	3,132
固定資産合計	7,552	6,547
資産合計	24,073	23,614

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	885	1,228
未払金	1,583	988
未払法人税等	215	48
賞与引当金	306	225
その他	360	378
流動負債合計	3,351	2,869
固定負債		
売上割戻引当金	213	212
退職給付引当金	417	413
その他	231	204
固定負債合計	862	831
負債合計	4,214	3,700
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,600	3,600
資本剰余金	4,897	4,897
利益剰余金	12,726	12,752
自己株式	△1,295	△1,295
株主資本合計	19,929	19,955
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△69	△41
評価・換算差額等合計	△69	△41
純資産合計	19,859	19,913
負債純資産合計	24,073	23,614

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,512
売上原価	4,342
売上総利益	4,169
販売費及び一般管理費	3,744
営業利益	424
営業外収益	
受取利息	2
有価証券利息	37
受取配当金	0
雑収入	8
営業外収益合計	49
営業外費用	
支払利息	1
雑損失	0
営業外費用合計	2
経常利益	471
特別利益	
投資有価証券売却益	6
特別利益合計	6
特別損失	
固定資産除却損	0
業務委託契約解約損	13
特別損失合計	13
税引前四半期純利益	464
法人税、住民税及び事業税	32
法人税等合計	32
四半期純利益	432

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	当第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	464
減価償却費及びその他の償却費	219
受取利息及び受取配当金	△40
固定資産除却損	0
売上債権の増減額(△は増加)	42
たな卸資産の増減額(△は増加)	△119
前払年金費用の増減額(△は増加)	△20
仕入債務の増減額(△は減少)	342
未払金の増減額(△は減少)	△611
未払消費税等の増減額(△は減少)	△61
前受金の増減額(△は減少)	92
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△34
その他	△17
小計	256
利息及び配当金の受取額	40
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△174
その他	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(△は増加)	200
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による 収入	523
有形固定資産の取得による支出	△70
無形固定資産の取得による支出	△123
その他	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	469
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△287
リース債務の返済による支出	△35
その他	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△323
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	266
現金及び現金同等物の期首残高	3,257
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,524

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、レディースインナー等販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。